

### 一間だけの耐震工事に対する助成制度創設についての考えは

奥富 喜一 議員

質問 高齢者単身、高齢者のみ世帯等の耐震住宅改築困難な家庭に対し、命を最低限守る目的での一間だけの耐震工事に対する助成制度創設についての考えは。

市長 地震発生時に迅速な避難が困難な高齢者等の安全を確保する方法として耐震シェルターがあり、今回の大震災を見るにつけ、シェルター設置により高齢者等の安全を確保できる方策として認識しているので、助成制度については市の総合的

な防災対策を推進する上で、他の耐震化事業とあわせて有効性を検証し、判断したいと考えている。



▲耐震シェルター

### 東日本大震災 横田基地での米軍と自衛隊の対応は

田村 正秋 議員

質問 今回の東日本大震災では、横田基地は世界中からの支援物資輸送の中継地点、福島第一原子力発電所の事故対応等、大きな役割を果たしたようだが、その実態及び自衛隊と米軍の連携活動について伺いたい。

市長 米軍は震災発生直後から「トモダチ作戦」を展開し、横田基地では同盟国からの派遣要員、世界各地からの救援物資等の受け入れ、輸送等米軍の支援拠点施設として633回の飛行ミッション、約100万トンの物資を届け、また自衛隊と米

軍の共同調整所が設置され、綿密な調整作業により、対応がされてきたことである。



▲横田基地

### 多くの志ある市民のために被災地復興支援ボランティア・バスの運行を

青海 俊伯 議員

質問 福生市内から被災地までの足が確保されれば、多くの志ある市民の方がボランティアとして参加されると確信しており、市が中心となって社会福祉協議会と連携し、現地のボランティアセンターと調整して定期的にボランティア・バスの運行ができないかどうか伺いたい。

市長 ボランティアによる支援は被災地にとり重要不可欠なものであり、ボランティアツアーは市単独ではなく近隣を含めて広域的に実施した方がより効果的になると思われるので、西多摩地域広域行政

圏協議会に私から提案したいと考えている。



▲被災地支援ボランティア(多摩市社会福祉協議会)

### 「釜石の奇跡」に学び 防災教育はどのように

原田 剛 議員

質問 津波防災教育が行われてきた釜石市の児童・生徒は、日常訓練により東日本大震災に際し、みずからの命を守り抜き、約3,000名の子ども達がほとんど助かったことである。学校での防災教育の重要性を思うが、当市の取り組みはどうか。

教育長 授業中などに大地震等を想定し毎月避難訓練を実施し、学校施設・設備等の安全点検、安全指導等も継続して行っているが、今回の大震災を踏まえ、危機管理体制で前

提としていたことを見直しし、家庭や地域への啓発や連携した取り組みに一層力を入れていきたい。



▲避難訓練の様子(第5小学校)

## 次回定例会のお知らせ

平成23年第3回定例会は、9月5日(月)から9月30日(金)までを予定しています。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会  
9月5日(月)～9月8日(木)及び9月30日(金)
- ◆決算審査特別委員会 (予定) 午前9時開会  
9月12日(月)～9月15日(木)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会  
9月20日(火)～9月22日(木)

#### ★市議会を傍聴してみませんか★

本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。傍聴の受付は会議の当日、市役所第2棟3階の議会事務局で行います。

### 緊急非常時における防災行政無線の聞き取りにくい地域への対応は

大野 悦子 議員

質問 普段は登下校の見守りなど緊急で使われることのない防災行政無線だが、建物の陰になるなどして今回の計画停電の放送が聞き取りにくい地域からは困惑や苦情の声が多く寄せられたが、防災行政無線の無線機を貸し出すなど緊急非常時に向けての何らかの対応は。

市長 聞き取りにくい地域には小型のスピーカーを設置するなど個別に対応し、また普段聞こえる場所でも強風時の風向きや機密制の高い住

宅では聞こえない場合もあるので、防災行政無線音声ガイダンスによる直近の放送をお聞きいただきたい。



▲防災行政無線

# 第61回 福生七夕まつり

8/4～8/7

福の生まれるまちから  
「元気」を仙台へ

今年も民踊パレードに参加します!

▲昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景